

1. 工事名 筑波大学周辺樹林の地植栽工事
 1. 工事位置 茨城県南相模村天王1丁目1番地1 筑波大学構内 (別紙 位置図参照)
 1. 工事期間 着工 昭和53年1月 日, しん功工期 昭和53年3月25日
 1. 工事内容等

1. 移植工事 4607本

地行場所	樹名	低木 (樹高cm)										高木 (樹高m)										小計	計
		30	50	80	100	150	200	250	300	400	500	4	12	15	18	20	25	30	35	40	50		
南渡野田樹林	アサギ	14	83	27	40	97	173	136	142	60	22	28	28	15								430	834
	アサギ																					404	
兵太郎池田	アサギ	81	65	21	19	48	178	51	84	53	8	21	51	15	8							291	703
	アサギ																					412	
1次共用棟	アサギ	3	391	78	156	38	83	40	55	42	14	8	6	7	5	1						749	927
	アサギ																					749	
1次ベグ	アサギ	10	31	71	657	301	231	74	19	19	17	37	25	5	3							199	1500
	アサギ																					1301	
駐車場	アサギ	60						13	115	199	102	137	49	4								379	643
	アサギ																					64	
計		108	600	1147	872	495	668	214	416	333	163	231	59	44	16	1						1677	4607

2. 新規工事 4535本

地行場所	樹名	H				本数	樹名				H	C	W	本数	樹名				H	C	W	本数		
		100	150	200	250		アサギ	ヒナギ	アサギ	ヒナギ					アサギ	ヒナギ	アサギ	ヒナギ						
南渡野田樹林	アサギ	4000	190	400	140	スギ	3000	700	32	ヒナギ	3000		800	8										2077
	アサギ	900	300	493	ヒナギ	800	300	493	アサギ	800	1500		400	247										
	アサギ	900	300	370	アサギ	900	600	247	アサギ	800	900		25											
	アサギ	900	300	308	アサギ	800	500	30	アサギ	800	500		30											
兵太郎池田	アサギ	4000	150	900	43	スギ	3000	700	29	ヒナギ	3000		800	14										963
	アサギ	3800	200	1800	28	アサギ	800	300	243	アサギ	800	3000		58										
	アサギ	900	600	122	アサギ	900	300	123	アサギ	800	300		59											
	アサギ	900	300	63	アサギ	1800	400	59	アサギ	800	400		63											
1次共用棟	アサギ	6000	600	3800	1	アサギ	800	500	55	アサギ	200		200	100										156本
	アサギ																							
1次ベグ	アサギ	550	300	51	アサギ	900	400	172	アサギ	500		500	20											367本
	アサギ	900	300	52	アサギ	800	600	72																
駐車場	アサギ	900	600	320																				320本
	アサギ																							

3. パーフ堆肥, ようりん, 支柱等

地行場所	樹名	パーフ堆肥				ようりん				支柱等				
		kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	
南渡野田樹林	アサギ	117	221	105	105	117	221	105	105	117	221	105	105	2077
	アサギ	894	891	21	21	894	891	21	21	894	891	21	21	
	アサギ	703	703	16	16	703	703	16	16	703	703	16	16	
	アサギ	927	927	28	28	927	927	28	28	927	927	28	28	
兵太郎池田	アサギ	1500	780	9	9	1500	780	9	9	1500	780	9	9	963
	アサギ	643	1289	28	28	643	1289	28	28	643	1289	28	28	
	アサギ	4007	4167	82	82	4007	4167	82	82	4007	4167	82	82	
	アサギ													
計														

特記仕様

1. 本工事実施の順序並びに方法については、文部省発注工事請負契約基準、契約書、土木工事標準仕様書追加(植栽工事)、特記仕様書及び図面にもとづくものとする。実施・細部の図面等と抵触あるときは、甲が通知した監理員(以下「監理員」という)の指示に従うこと。

植穴

1. 天共開田開削、1.1メヅについては、手掘りとする。ベグ上の車輛の通行は認めないで注意すること。
- 植穴は十分余裕をもった大きさに掘ること。電気、排水等、管路については、あらかじめ確認して掘り始めること。
- 工事中は、通行人あるいは車輛に対し、安全帯をとること。
- 掘上げた土は、埋土命と貯き、近くを敷きならすものとする。

樹木の掘取り

- 移植する樹木個体については別に指示する。移植は、草子面を掘り上げて行うこと。
- 新規樹林については、請負者の許しとする。新規樹木の根巻きは、シラカシ、フロマツについては、行うこと。
- 樹木は、根巻きと行なうこと。新規樹木についても根巻きしたものとする。
- 目通り周 20cm以上の樹木の根巻きは、丸巻の上の掛竹二度巻きを原則とする。

植付

- パーフ堆肥の施用量は、目通り周 9~16cmで1本当り 1袋(20kg)とする。
 15~17cm 2袋
 20~24cm 3袋
 25~29cm 4袋
 30~39cm 5袋
 40~49cm 6袋
 シラカシ 600cm 10袋 とする。
- ようりんは、高木1本当り 1kgとし、シラカシ(C-600)については、2倍使用する。
- 樹木のたて込み前に、植穴の底層をよく削り、改良土とパーフ堆肥の半量を混合すること。
- 埋戻しは、土のめし、根巻き根の分布が多い部位で、残りのパーフ堆肥とようりん1kgを混合し、その改良土と混ぜ合わせ、埋戻すものとする。埋戻しは、人手によること。
- 埋戻し終了後、水鉢を打つ。すみやかに十分灌水すること。
- 樹木の掘取り後、24時間以内に植付けとすること。

保護・養生

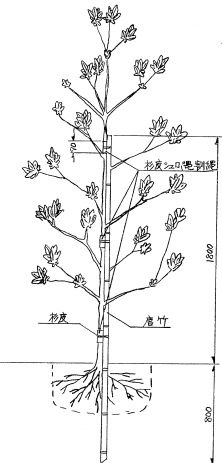
- 各樹木の支柱等については、実測図を参照のこと。平行脚居等は、杉切丸太(長さ60cm)とフロマツ(長さ20cm)のものを使用し、二脚居等は、同じくフロマツ(長さ60cm)と杉切丸太(長さ180cm)のものとする。ハッ掛、添え柱は、唐竹を使用し、行うものとする。取付仕様は、別図のとおりとする。
- 並給引鉄線は、#16とし、丸太の径等は、6目以上の後割竹とする。
- その他
 - 植栽にあたり、関係のない立木竹と掘損しないこと。
 - 植栽を終えた樹木周辺の清掃は、その都度行うこと。
 - パーフ堆肥は、長く乾燥したものを使用すること。また、使用に際しては、20kg袋入りのもので使用する。
 - 工事記録写真は、次のものを提出する。

区分	大きさ	種別	#/組	組	注
着工前写真	縦向き	杉切丸太	1	1	しん功写真は裏面に、工事年度、工事名、撮影した樹木を記入し、撮影年月等を明示した配置図又は平面図(5枚)を添付する。
工事完了写真	横向き	杉切丸太	1	1	
工事完了写真	横向き	杉切丸太	1	1	

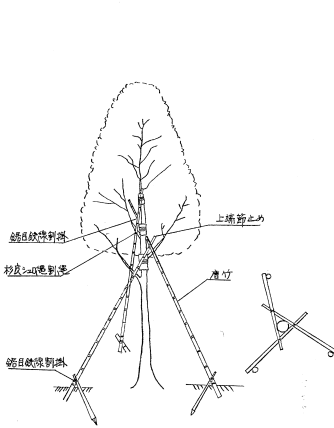
枯補償

1年以内に枯死、抜根枯死、樹形不良となつた場合は、発注者と請負者が協議して定められた時期にもとめて植栽した植栽材料と同等またはそれ以上の筑波大学官給品のものとして請負者の負担において植栽せしめらるものとする。ただし、天災その他やむを得ない理由による場合は、両者協議の上、処理方法を決定する。新規工事の請負者許し込みの樹木については、土木工事標準仕様書追加(植栽工事)の枯補償を適用する。

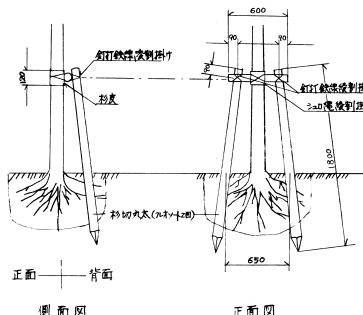
添え柱 取付仕様図



ハッ掛 取付仕様図



二脚居 取付仕様図



平行脚居 取付仕様図

